



生徒の生徒による生徒のための校則

～小津中学校ルールメイキングプロジェクト～



「校則やルールについて『おかしいな』と思うことはありませんか？

私は、生徒手帳に書いていることがあやふやで、わからないことがあります。」

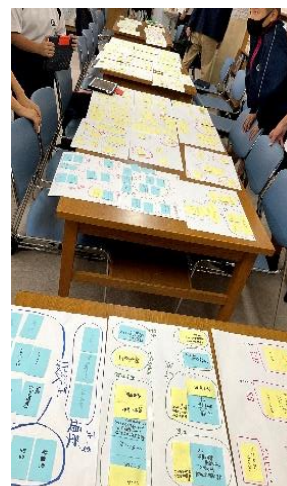
「私たち生徒会と校則を変えてみませんか？」



生徒会長中村さんの力強い呼びかけでスタートした「ルールメイキングプロジェクト」。

NPO 法人カタリバや経済産業省「未来の教室」実証事業の支援のもと、コーディネーターや有識者のサポートを受けながらも、あくまで生徒が主体となって実施している本校のプロジェクトです。生徒が、教員・保護者の皆さん・地域の方などとの対話を重ね、校則・ルールについて納得解を見つけていくことになります。育てたいのは「自治」の意識。「自分たちの学校（社会）は自分たちで変えられる」。そんな自分たちの学校（社会）に対する当事者意識を育てていくことが、何よりも大切だと考えています。

中心で動いているのは生徒会に有志メンバーを加えた20名弱のルールメイカー（ルールメイキング担当者）たち。「生徒の生徒による生徒のための校則」というコンセプトを打ち出し、小津中の校則・ルールについて考えてきました。9月22日には「全校クラス会議」を実施。白熱するクラス会議を切り盛りするのは先生、ではなく彼ら「ルールメイカー」。制服、髪型、スマートホン、自転車通学・・・。たくさんの「変えたい校則・ルール」が寄せられました（右写真）。



このプロジェクトを通じて感じるのは子どもたちの頼もしさ。「校則は縛るものではなく、みんなを守るものという認識を作りたい」「中学生らしさという曖昧な表現を改めたい」...etc。それぞれの想いは異なりますが、学校をよりよくしたい、という気持ちを胸に、大人も顔負けの対話を重ねています。

当初はルールを決める主体を生徒に委ねることに、少なからず不安を感じていた大人（教員）たち。



生徒の頼もしさを目の当たりにして、大人の意識も変わりつつあります。予め大人たちが「正解」を用意するのではなく、子どもたちが（大人たちとともに）「納得解」を見つけることを、ちゃんと信じて見守っていきたい。そんな姿勢こそが「みんなが安心 みんなで創る あなたが輝く学校」という目標を実現する鍵だと思っています。

※詳細は本校HPの「ルールメイキング」カテゴリより御覧下さい。